

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 18-151

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 認知機能障害の併存する高齢がん患者の治療関連リスクに関する研究

・目的：本研究は、化学療法を受ける高齢がん患者において、認知機能障害の併存が治療関連リスクと関係するかどうかを探索的に検討することである。

・研究期間：2018年10月末日～2021年3月31日

・研究対象： 研究参加施設に通院中もしくは入院中で、新規治療レジメンを開始する予定の患者

70歳以上でがんの診断、告知が得られており、日本語の読み書きが可能である患者

・研究全体の登録予定数：500人

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：年齢・生年月日、性別、婚姻状況、教育歴、同居家族、介護区分・介護サービスの利用状況、診断名（がん腫）、病期、既往歴、がんの治療内容、PS（Performance Status）、血液検査結果、ADLs、IADLs、CCI、MoCA-J、PHQ-9、CARG、CTCAE ver.4.0-JCOG、重篤な有害事象（CTCAE で Grade 3 以上）、転倒歴、その他診療録データ（6 か月間の予約外の入院回数、6 か月間の予約外受診の回数、退院後 1 か月以内の予約外の再入院回数）

③ 利用する者の範囲

：

医療機関	施設研究責任者	職種
国立がんセンター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野	小川 朝生	医師
杏林大学医学部内科学腫瘍内科	長島 文夫	医師
埼玉医科大学国際医療センター	濱口 哲弥	医師

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科 濱口哲弥